

第2回 ネオエイジング シンポジウム

Let's NEO AGING!

2021年2月21日（日）AM10:00 - PM4:00

TKP虎ノ門駅前カンファレンスセンター新館 □収容130席に対して70席（約50％）を参加定員とします。
 参加枠⑦席（事前の分科会登録者：55名）／⑧席15名） 定員になり次第締め切りとなります。（参加者には後日、収録動画をYouTube特定公開にて配信）
 □YouTubeLive配信限定100名（動画配信のみ、質疑応答などの双方向コミュニケーション不可）締め切り2月15日（月）、開催1週間前に特定公開における
 事前パスワードを連絡、動画映像のコピーなどを禁止した同意書も申込時にとります、後日の収録動画YouTube特定配信はありません）
 ＊ご参加者ならびに講師ともにマスク着用。当日は受付にて入室前、赤外線センサーによる検温およびアルコール消毒の徹底を図ります。ご協力をお願いいたします。

参加申込書 FAX03-6222-3125まで

(1) 会場参加（収容130席中60席） (2) YouTubeLive配信（限定100名）

申込日 20 年 月 日

申込区分 (必ず該当欄に○ ☒ を)		☐ 医 科 ☐ 歯 科 ☐ 会場⑦席55名（分科会登録者） ☐ ⑧席15名（事前登録なし） ☐ YouTubeLive配信参加100名	
フリガナ			
氏 名	男・女	印	
御請求書住所 〒 都・道・府・県			
TEL		FAX	
E-mail @			
勤務先又は 所属医院		部 署 (資格)	
勤務先 住 所	〒	勤務先 TEL	

参加対象：医師、歯科医

会場参加・参加費：収容130席に対して70席（約50％）を参加定員とします。参加枠⑦席（事前の分科会登録者：55名）
 12,000円（税別）／⑧席15名（事前登録なし）15,000円（税別） 定員になり次第締め切りとなります。
 ＊会場参加者にはフォーラム終了後に収録動画（非売品）を配信します。

YouTubeLive配信での参加・参加費：限定100名 5,000円（税別）（動画配信のみ、質疑応答などの双方向コミュニケーション不可）締め切り2月15日（月）、開催1週間前に特定公開における事前パスワードを連絡、動画映像
 のコピーなどを禁止した同意書を申込時にとります、後日の収録動画YouTube特定配信はありません）

会場参加にあたって：ご参加者ならびに講師ともにマスク着用。当日は受付にて入室前、赤外線センサーによる検温およびアルコール消毒の徹底を図ります。ご協力をお願いいたします。

会場参加者特典：当日参加医師、歯科医には講演に関連した製剤、治療費のディスカウントおよびCellactinの院内プロモーションビデオ、書籍「NEOAGING」、長寿治療製剤 「JAKKA」2021年新刊の贈呈をいたします。

JAAS ACADEMY

JAASアカデミー

〒104-0033 東京都中央区新川2-21-15-1007 電話 03-6222-3121 FAX 03-6222-3125

公式サイト <http://www.jaas-academy.com/>

下記は事務局記入欄

受付日	／	入金日		登録No.	／
-----	---	-----	--	-------	---

第2回 ネオエイジング シンポジウム

Let's NEO AGING!

2021年2月21日（日）AM10:00 - PM4:00

TKP虎ノ門駅前カンファレンスセンター新館 □収容130席に対して70席（約50％）を参加定員とします。
 参加枠⑦席（事前の分科会登録者：55名）／⑧席15名） 定員になり次第締め切りとなります。（参加者には後日、収録動画をYouTube特定公開にて配信）
 □YouTubeLive配信限定100名（動画配信のみ、質疑応答などの双方向コミュニケーション不可）締め切り2月15日（月）、開催1週間前に特定公開における
 事前パスワードを連絡、動画映像のコピーなどを禁止した同意書も申込時にとります、後日の収録動画YouTube特定配信はありません）
 ＊ご参加者ならびに講師ともにマスク着用。当日は受付にて入室前、赤外線センサーによる検温およびアルコール消毒の徹底を図ります。ご協力をお願いいたします。

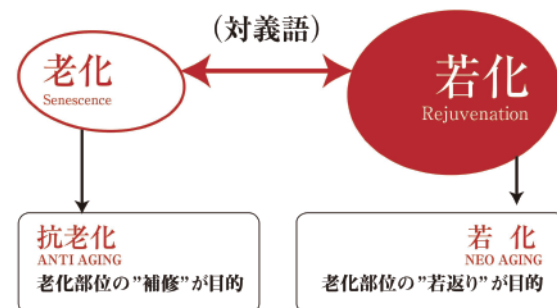


第2回目のテーマは「老化は治療できる！細胞からの若返りと老いない身体を手に入れる若化医療（ネオエイジング）の実践PART II」

JAASの中に「新たな若返り医療の概念とその実践」を旗印に発足したネオエイジング分科会は2019年秋から本格的な活動が続け、その旗割役として宇野克明医師を学術顧問に迎えてきた。同医師が監修し米国リチャード・フランシス・ウォーカーが執筆した「NEO AGING 12兆の細胞を覚醒させる若返りの最先端医学」こそ、若化医療（NEO AGING）の対処法第一弾として期待される成長ホルモン放出ペプチドGHRP-2の有用性を解説した書籍で、多方面の医療関係者から注目されている。折しも、今秋「LIFE SPAN老いなき世界」（東洋経済新聞社）の翻訳本も発刊された。その著者ハーバート大学の世界的権威David A.Sinclair PhDは【老化は治療できる病いである】として最新の老化のメカニズムと老化を治療、予防する薬などを網羅して「新たな若返り、長寿革命」の未来予測を投げかけている。“誰もが人生120年時代を若く生きられる“というNEO AGING時代の到来を、この2つの書籍は予言しているといってもいい。

とはいえ2020年は新型コロナ感染拡大を受け、こうしたネオエイジングの必要性を啓もうする場として対外的な発表の機会が失われてきたため、第1回のシンポジウムはJAASの年次総会を兼ねた第11回JAAS東京ライブフォーラムに発表の舞台を変えて、「ネオエイジングセッション」という講演枠として開催された。そして、第2回目のネオエイジング・シンポジウムは2021年2月21日に開催する運びとなった。「老化は治療できる！細胞からの若返りと老いない身体を手に入れる若化医療（ネオエイジング）

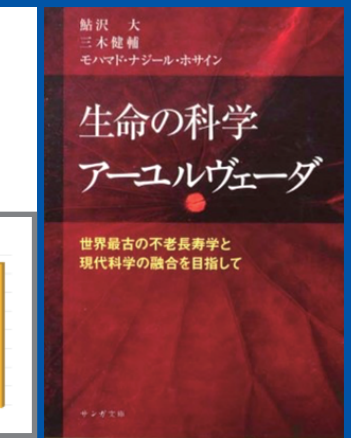
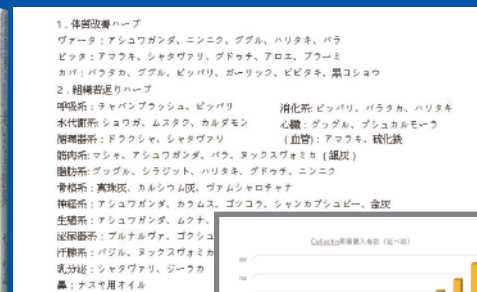
の実践」をテーマに、さらに深化したネオエイジング医療の実践をキーワードとなる医師、歯科医に加え、ランチ休憩には5G時代を見据えた動画を活用した集客、サブリなどの物販販売のやり方、細胞からの若返りで需要が高まる医療機関向けサプリメントなどについての講演を組み込んだ。アンチエイジングを実践する医師、歯科医そして美容医療に「若返り内科」の導入を検討する医師にぜひ、ご参加いただきたい。会場は新型コロナ感染予防の徹底した対策を講じることはもちろんだが、当日ご参加できない先生方には、YouTubeライブ配信での参加枠も設け多くの方々に視聴いただけるよう運営面での工夫をしていく。



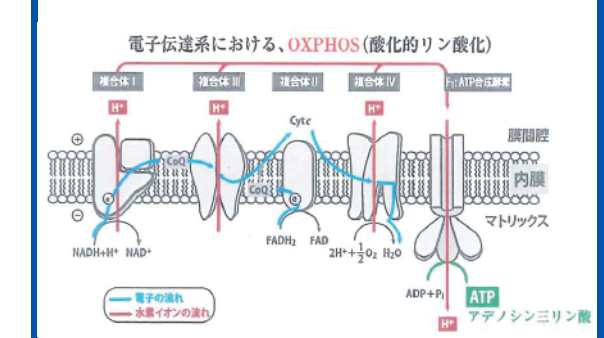
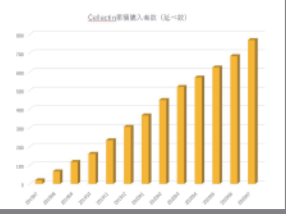
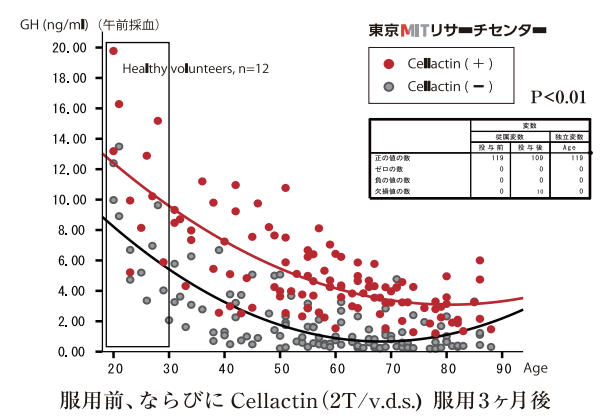
開催趣旨・概要・プログラム…2～3頁・申込書…4頁・分科会事前登録申込書…別紙

JAAS
 新たなエイジングケア「若化医療」
 NEO AGING
 JAAS ACADEMY

主 催：一般社団法人 JAAS 日本アンチエイジング外科学会
 ネオエイジング分科会
 企画・運営：JAAS アカデミー <http://www.jaas-academy.com/>



Cellactin 服用前後の GH レベル



医師、歯科医に向けた「医師個人輸入製剤」を中心に細胞そのものの若返り、長寿薬や歯科領域インプラント治療、アーユルヴェーダメディスン処方なども投げかけます

第1回ネオエイジングシンポジウム (ネオエイジングセッション) 宇野克明MD講演概要

ヒトが若化という現象を備える理由を4つほど解説した。その一つ目の内容は、ヒトの元になった根源の生物が古細菌とよばれる原核細胞であったこと。さらに、その後にミトコンドリアとなって進化を遂げるきっかけとなった真性細菌 (α プロテオ細菌の侵入) が、ヒト始原細胞との共棲関係を成り立たせたことを述べた。加えて、さらにその後、多数のウイルス感染を受けて徐々に真核生物の特徴とされる細胞核が完成し、多数の塩基配列からなる二重らせんDNA構造を獲得したことを語った。

続いて二つの目の理由には、若化にまつわる細胞分裂のしくみとそれに対する若化の関与に対し、細胞骨格という細胞内部の支持組織、アクチンフィラメント、微小管、中間径フィラメントの重要性に触れた。そして三番目が、37兆個もの数からなるヒト細胞に対する監視メカニズムとして、MHCペプチド分子の担う役割についてであった。これには細胞内部に生じた異常を細胞の表面にかけるMHCクラスⅠ分子と、体液中の異常を特殊な免疫細胞がかけてリンパ球に伝達するというMHCクラスⅡ分子の存在を延べつつ、それらの分子形成には成長ホルモン分泌が不可欠であることを力説した。

そして最後の理由は「代謝メカニズムでの若化」であった。それは、若化におけるミトコンドリアの重要性と今回新しいキーワードとなる「酸化的リン酸化：(オクスフォス：OXPHOS)」という化学反応の重要

性であった。その要点は「ヒト (真核生物) は酸化によってエネルギーを生みだす生物であること」、そしてミトコンドリアとは、「酸化によって生命エネルギー (ATP:アデノシン三リン酸) を作りだす粒子である」との解説となった。特にこの4番目の内容は、もともと宇野医師が専門としていた基礎系細胞生物学からのフィードバックであり、仮説を超えた医学的ファクトが裏付けされたものである。その上での重要ポイントは、「酸化物の中和 (すなわち抗酸化という対処) が、ミトコンドリア内部での脱分極 (プラス電位とマイナス電位が失われる) 」を惹起しうること。さらに、そうした「抗酸化」を強力に推進したなら、オクスフォスはたちまち停止し、細胞死につながりうるとの危険性について警鐘をならすものでもあった。

そして講演の最後は、昨年の発表以後にCellactin投与を行った症例のデータ解析についてアップデート報告がなされた。宇野医師が今年の第10回JAAS東京ライブフォーラムの発表以後に、新たに投与を開始したCellactin数は443例。そのうち服用後3ヶ月の期間において成長ホルモン数値を比較測定した例は248例、リピート率は56%という結果であった。

そして、宇野医師からは「若化を目的とした医薬品第2弾、「JAKKA (じゃっか：ピグアナイド系SASP改善剤)」やJAKKAに続く大型「若化アイテム」2種も、ウォーカー博士とJAAS共同研究者らの研究協力によって開発中で、第2回ネオエイジングシンポジウムで公開する」という。

開催概要

名 称：JAASアカデミー 第8回春季公開講座 JAAS日本アンチエイジング外科学会 第2回ネオエイジングシンポジウム

副 題：ネオエイジング分科会発足記念 第1回目「若化医療の実践その二」

主 催：一般社団法人 JAAS日本アンチエイジング外科学会 ネオエイジング分科会

企画・運営：JAASアカデミー 東京都中央区新川2-21-15 1007 電話03-6222-3121 FAX03-6222-3125 URL:http://www.jaas-academy.com/

会 場：TKP虎ノ門駅前カンファレンスセンター 東京都港区虎ノ門1-4-3 NT虎ノ門ビル tel:03-5510-8787

日 時：2021年2月21日 (日) AM10:00-PM4:00 (受付:AM9:30～)

参加対象：医師、歯科医

会場参加・参加費：収容130席に対して70席(約50%)を参加定員とします。参加枠⑦席 (事前の分科会登録者:55名) 12,000円 (税別) / ⑧席15名

(事前登録なし)15,000円 (税別) 定員になり次第締め切りとなります。

***会場参加者にはフォーラム終了後に収録動画 (非売品) を配信します。**

YouTubeLive配信での参加・参加費：限定100名 5,000円 (税別) (動画配信のみ、質疑応答などの双方向コミュニケーション不可) 締め切り2月15日 (月)、開催1週間前に特定公開における事前パスワードを連絡、動画映像のコピーなどを禁止した同意書を申込時にとります、後日の収録動画YouTubeLive特定配信はありません)

会場参加にあたって：ご参加者ならびに講師ともにマスク着用。当日は受付にて入室前、赤外線センサーによる検温およびアルコール消毒の徹底を図ります。ご協力をお願いいたします。

会場参加者特典：当日参加医師、歯科医には講演に関連した製剤、治療費のディスカウントおよびCellactinの院内プロモーションビデオ、書籍「NEO AGING」、長寿治療製剤「JAKKA」2021年刊の贈呈をいたします。

2021年2月21日 (日) プログラム

◎受付 AM9:30～ TKP虎ノ門駅前カンファレンスセンター

◎AM10:00-10:10

「開会のあいさつ 美容外科的なAntiAg (老化解) から体感得られる科学的なネオエイジング医学が求められる」

JAAS発展の前進に池田医師が情熱と努力を注いできたことは誰の目にも疑いはない。切開系の手術はもちろんのこと、「今時の美容形成ニーズ」をいち早くとらえ、日々進化するヒアルロン酸注入術、糸を使った眼、鼻、フェイスへの最新のプチ形成術などを次々に考案し、治療に生かしながら、一方で漢方治療、アンチエイジング療法など内科的な若返り療法を取り入れてきた。JAASのネオエイジング分科会でも専任講師を務める。JAAS日本アンチエイジング外科学会での「新たな美容医療」の普及啓蒙と共に、今後内科的なエイジングケアの啓発に力を入れていく。大阪医科大学卒業、形成外科医として研修。故・田嶋定夫教授、東海大・谷野隆三教授に師事し、形成外科専門医を取得する。JAAS理事長。

(医) 邦寿会理事長 東京皮膚科・形成外科グループ総院長 池田 欣生MD

◎AM10:10- 10:40 午前の部 (1)

「アンチエイジングのための遺伝子診断、遺伝子治療～遺伝子導入による若返りとがんにならないための予防医療の勧め、遺伝子導入のためのベクター・リボソームを利用した点鼻DNAワクチン開発 (世界初) の可能性について 動画解説」

2008年、国内で初のがん遺伝子治療クリニックを開設し、ラボも併設された研究所で遺伝子診断、治療を国内外のがん患者に行っている。PET、CTなどでも見つけることのでない直径5mm未満の初期がんを、その存在と部位まで詳細に推定し、その後の3～5年間の各種がんの発症リスクも診断してしまふ。マルチプレックスPCR法によるDND診断技術で、120種類のがん関連遺伝子の異常を検知できる。がん治療に用いるのは遺伝子を細胞に導入した培養細胞であることはいままでのない。強力な殺傷能力をもつ遺伝子を入れたNK細胞、がん原遺伝子を導入した樹状細胞、がん抑制遺伝子であるP53、サイトカイン遺伝子治療など、その培養や遺伝子導入の種類、手法は多岐に及ぶ。1974年東邦大学医学部卒業、米国留学を経てヒラハタクリニックを開業。後UDXヒラハタクリニックを経て、現在の200坪にも及ぶHIC CLINICを有楽町駅前に開設した。講演では新型コロナ感染予防が必要となるワクチン開発についても言及する。

HIC CLINIC院長 平畑 徹幸MD

◎AM10:40- 11:20 午前の部 (3)

「アーユルヴェーダメディスンで細胞を蘇らせる～長寿科学研究から見出した、自然妊娠力を高め、更年期障害を改善させるアーユルヴェーダ医学の最新のエビデンスとその処方 (ムユウジュなど)」

アーユルヴェーダ医学を基礎に長寿科学の現代的なアプローチをつづける横浜市立大学大学院 生命ナノシステム科学 長寿科学研究プロジェクトのひとりとして活躍する三木博士。同博士も参加した研究では、細胞質のタンパク質合成を制限することにより細胞老化が再び増殖を再開する、という画期的なメカニズムを発見した (Nature Publishing Group)。他方で世界最古の不老長寿薬アーユルヴェーダと現代医学の融合をめざして、ハーブ製剤を処方した疾病の治療、予防について臨床研究を行っている。

妊娠力のアップ、更年期障害の改善など臨床データから得られた最新の追加知見を公開しながら、アーユルヴェーダメディスンがいかに細胞を蘇らせ、若返り療法に活用できるかを述べる。そしてその処方中の代表的な濃縮ハーブエキス、「ムユウジュ」について生理活性についての有効性を初公開してもらう。横浜市立大 国際総合科学研究科バイオ科学専攻、細胞老化のメカニズムで博士号を取得。

横浜市立大 生命ナノシステム科学研究科 長寿科学研究室 国立ユナニ・アーユルヴェーダ医科大学 准教授 三木 健輔 博士

(医) 美翔会 聖心美容クリニック統括院長 (横浜市立大 医学部 臨床教授) 鎌倉 達郎MD (外科出身)

◎AM11:20- 11:50 午前の部 (4)

「口腔の老化と成長ホルモン放出ペプチド (GHRP-2) ～歯周病、矯正歯科、インプラント治療における骨、結合組織喪失とGHRP-2によるリスク回避、その新たな知見」

歯科医としていち早くGHRP-2服用の効用を見出した中村DDSに、服用後の「体感」にあわせて、GHRP-2による歯周病に対する効果について新たな臨床知見を交えて概説してもらう。歯科インプラント、上唇小体切除術、バックスファットやヒアルロン酸、ボトックス注射、アートメイク術など豊富な治療実績をもち、JAAS7カテゴリーでも「歯科アンチエイジング美容塾」の専任講師として熱心指導にあたってきたことは周知のとおりだ。

BREATH DENTAL CLINIC院長 (神奈川歯科大学 臨床講師、日本大学 兼任講師) 中村 朋美DDS

◎AM11:50- PM12:30 午後の部 (2)

「ウォーカー博士からのビデオメッセージと、Cellactin、最新のエビデンス第二弾～ホルモン補充療法と経口Cellactinによる成長ホルモン分泌とその影響」

WALKER博士はヒト老化に関する成長ホルモン研究の第一人者で成長ホルモン放出ペプチドの有意性を若返り治療とその医薬品開発に注力。本製剤Cellactinを日本仕様の処方として宇野医師と共同開発した。この成長ホルモン放出ペプチド (GHRP-2) 複合製剤こそネオエイジング (若化) を促す基本的なメカニズムをもち、成長ホルモン→細胞骨格→ミトコンドリア→テロメア→細胞骨格へと進む特殊サイクルを解明した。同博士によるホルモン補充療法による注射法とCellactinとの比較検証など最新の臨床報告を「NEO AGING～12兆の細胞を覚醒させる若返りの最先端医学」の発刊にあたり監修を務めた藤林 万里子医師にお願いした。

米・南フロリダ州立大学 細胞分子生物学客員教授 RICHARD FRANCIS WALKER, Ph.D., R.Ph.

(医) 輝映会 スキンリファインクリニック吉祥寺院院長 藤林 万里子MD



◎PM12:30- 1:00 昼食・休憩 (お弁当お茶支給) およびプレゼンテーション

「動画と5G～YouTube広告を使った最新の顧客獲得手法そのII～美容クリニック、免疫クリニックの集客成果と医療専売サプリ、化粧品などのEC販売」

演者の金島代表は、金融業界を経て2007年に株式会社グラッドキューブを創業。インターネット広告に関する幅広いコンサルティング業およびサイトUI/UX解析・改善ツールのSTTest (サイトテスト) を開発しアジアNo.1の48万サイトに導入。2018年ビジネスモデルが評価されドコモなどから出資を受け資本業務提携を行う。スポーツビッグデータのAI予測メディア SPAIA (スパイア) を立上げ新たな視点でファンにデータサービスを提供し2019年に総務省が主催する異能vationアワードにてジェネレーションアワードを受賞した。また同年 Google Premier Partner Awards 2019 動画広告部門 (YouTube広告) で最優秀賞 (日本一) を受賞する。現在、自身がもつスポーツYouTubeチャンネル、SPAIAchでも社長兼YouTuberとして活動している。

株式会社 グラッドキューブ代表取締役 金島 氏

◎PM1:00- 1:20 昼食・休憩 (お弁当お茶支給) およびプレゼンテーション

「細胞からの若返り①～生体内で防御機能が高いSODなど抗酸化酵素の産生にスイッチ入れる メロングリンディン®の最新知見」

株式会社 ニュートリション・アクト

◎PM1:20- 1:40 昼食・休憩 (お弁当お茶支給) およびプレゼンテーション

「細胞からの若返り②～寿命革命もたらすTAM-81～ビル・アンドリュース博士発見のテロメラーゼ誘導活性化合物でなぜテロメアが伸長するのか?」

Eye-Lens PTE LTD

◎PM1:40- 2:20 午後の部 (1)

「美容外科におけるGHRP-2複合剤Cellactinの有用性 ～過去10年経過したバイオアイデンティカルホルモン補充療法の臨床データと、過去1年半のCellactin投与の症例実績と評価」

聖心グループの各院、各専門科のドクター達とまとめ役として統括院長を務める鎌倉医師は、美容形成全般にわたり習熟し、患者からの信頼も厚い。一方で聖心再生医療センターの所長も兼任し再建術+美容形成における豊胸術の普及に努めながら、2017年春からは横浜市立大医学部の臨床教授としても尽力する。そんな鎌倉MDのもと昨年Cellactinが紹介されいち早く製剤を導入しグループ各院で取り扱い、診療で処方を開始している。

89年宮崎医科大学卒、JAAS理事。

(医) 美翔会 聖心美容クリニック統括院長 (横浜市立大 医学部 臨床教授) 鎌倉 達郎MD

◎PM2:20- 2:40 午後の部 (2)

「次世代のアンチエイジング療法～NMN製剤点滴療法の実践とその処方、治療法」

長寿遺伝子サーチェンに働きエビデノム情報の若化をはかるニコチン酸由来NAD+の前駆物質NMNは、若化・長寿への貢献が極めて高い。その製剤の点滴療法の実践を明らかにする。

A4MジャパンCMO (松寿会 松山医院理事長 GranProClinic理事長) 松山 淳MD

◎PM2:40- 4:00 午後の部 (3)

「ネオエイジング療法の必要性和その実践そのII～抗炎症・抗インスリン抵抗性・抗SASP対策 ① 保険適用プラズマモレリン酸の歴史と成長ホルモン分泌促進剤GHRP-2の日本型処方 (複合製剤) の優位性と生体内メカニズム、有用性 ② ビグアナイド系SASP改善剤JAKKA・長寿製剤としての活用とその生体内メカニズム、有用性そして初公開！老化解対応のリスクチェッカーの活用 ③ 酸化的リン酸化：(オクスフォス：OXPHOS) ④ NMNの若返りサプリメントへの応用」

ネオエイジング医療普及の日本のキーパーソン宇野医師、厚労省への薬監証明取得を済ませ2018年10月、個別医療機関への輸入がスタート。「若返り」を主たる効能に記載した「日本初」のGHRP-2複合アミノ酸ペプチド複合錠 (処方医薬品) をフォーミュレーションした学術エキスパートでもある。本講演では、日本で行われた成長ホルモン分泌促進を立証する最新の臨床データやサイトカインストームを減少させる臨床エビデンスについてもう一度復習の意味で講義をし、加えて若返り、性機能の改善さらには副鼻腔炎、関節症の改善、抗がん作用などその根拠となるメカニズムと有効性についても言及していく。また、第2回目のシンポジウムでは、2021年完成予定の長寿治療薬JAKKAの概要もはじめて明らかにする。さらに酸化的リン酸化 (オクスフォス：OXPHOS) をキーワードにした細胞死をさせない若返りサプリメントへの応用についても述べる。86年東海大学医学部卒、東京女子医大第二外科にて一般外科、救急医療を研修後、95年杏林大学にて医学博士取得、96年医療法人財団コンフォート理事長に就任する。コンフォート病院では日本初の「がん免疫ドック」を開発し運用を開始した。2001年4月より東海大学医学部外科学教室にてHLA・がん免疫研究に携わる。2012年9月東京MITクリニックを開業、現在に至る。

東京MITクリニック院長 宇野 克明MD

